

意見広告

「全世界の国民が
平和のうちに生存する

権利を有する」と宣言している
日本国憲法を支持します。

武力衝突によつて人間の命が失われることを防ぐために、
憲法の改悪に反対し、安全保障関連法案の廃案を求めます。

私たちには、医師として、自衛官を含むすべての人の生命
を守りたいと願い、憲法の戦争放棄規定を軽視した現政権
の国防政策に強く反対します。

私たち医師は、ひとりの命を守るために家族がすべてを
投げ打つて努力する姿と、命が失われた時の胸がつぶれる
ような悲しみを見続けています。人間は国を守る道具では
なく、生命は国家間交渉のためのカードではありません。

戦争は警察と強盗集団との対決とは違います。双方の政
府が正義を主張して、自国の若者たちに殺し合いを命じる
惨劇です。第二次世界大戦で最も激戦だったノルマン
ディー上陸作戦に参加したイギリス兵士は、こう語っています。
「道端には敵の遺体が散乱していた。ドイツ人は悪
魔と聞いていたが、自分たちと同じ青年だった。」「なぜ
自分たちが殺し合うのか自問した。ナチスとの戦いなの
か。ナチスに駆り出された普通の若者と戦ったのではない
かと思つた。」

安全保障関連法案に関連して議論されているのは、尖閣
諸島の帰属をめぐる対立です。この対立に類似しているの
はフォークランド紛争です。南米大陸の南端に近いフォー
クランド諸島の帰属をめぐつてアルゼンチンとイギリスが
対立し、一九八二年に武力衝突が起きました。フォークラ
ンドの島の上で、自國の政府に命じられて、アルゼンチン
の兵士たちとイギリスの兵士たちが白兵戦（銃剣を持つて
の殺し合い）をさせられました。

戦闘で殺された若者は、あつたはずの未来を失い、殺し
た若者は、心の平安を永久に失います。若者たちに悲惨な
殺し合いをさせる権限を政府に持たせてはいけません。

二〇一六年に発議される「お試し改憲」が憲法改悪への
入口です。誰でも賛成するような提案で賛成票を集めて、
その勢いを利用して問題ある法案を可決するのが現政権の
姿です。誰でもが賛成する消費増税延期を掲げて衆議院選
挙に大勝し、その議席数を利用して安全保障関連法案を成
立させようとしている現政権の姿をしっかりと記憶してください。
同じ策謀に何度もだまされてはなりません。「お試し改憲」をすべて否決して、憲法改悪の隙を与えないよう
にしましょう。

人と人が殺し合う戦争の惨劇を未来へ持ち込ませず、
私たちの子どもの未来を守りぬくことを主張します。

北海道大学医学部五十一期医師有志一同	
新垣 盛雅	（外科医師）
岡 敏明	（小児科医師）
越智 仁司	（小児科医師）
後藤 敏明	（泌尿器科医師）
佐藤 裕子	（内科医師）
竹田 賢	（内科医師）
成味 純	（循環器科医師）
福原 正和	（小児科医師）
松井 亮	（内科医師）
伊古田俊夫	（脳神経外科医師）
岡田 純一	（小児科医師）
栗原 義夫	（内科医師）
坂井 敏夫	（精神科医師）
菅原 誠	（整形外科医師）
永島 哲郎	（小児科医師）
西尾 正人	（精神科医師）
前田 裕二	（内科医師）
道幸 道幸	（内科医師）
今井 知博	（予防医学医師）
尾崎 進	（外科医師）
黒川 新二	（精神科医師）
佐々木泰子	（小児科医師）
高橋 豊	（小児科医師）
永田 康	（小児科医師）
浜田 結城	（内科医師）
真尾 泰生	（内科医師）
武藏 学	（内科医師）

以上に加え、小児科医師一名、精神科医師二名、泌尿器科医師一名、外科医師一名、
内科医師一名がこの意見広告に参加しています。

（五十音順）

安全保障関連法案に反対する北大医学部51期医師有志の会 世話人 黒川 新二

〒060-0042 札幌市中央区大通西18丁目1番30 e-mail shinji-kurokawa@jcom.home.ne.jp